

葛飾区SDGs宣言書

宣言日

2022年 10月 13日

事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿					
<p>三味線の魅力を世界の人々に知ってもらい、三味線の市場を広げ、国内外でファンを増やしていくことが目標。そのために、伝統の真髄を残しつつも、新素材の開発や新しい製法等にも積極的に挑戦していく。若手の育成を含め、葛飾区において三味線製作・修理技術の保存活動にも積極的に取り組む。枠に囚われない自由な発想で、現状を打開する。</p>					
事業者等としてのねらい、特徴的な活動					
<p>新たなユーザーを開拓し、三味線市場を世界に拡大していくことが最重要課題。1社で対応できることではなく、また同業者が力を合わせることも大事だが、従来の枠組みを超えて、様々な分野の人たちとの連携も構築し、新しい地平を見出したい。前例のないことにも、取って挑戦する。</p>					
目指すSDGsのゴール（複数選択可）					
					
			<input checked="" type="checkbox"/>		
					
	<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>	
					
目標に関連する取組内容等					
ゴール	これまでの取組内容	2022年12月31日までの取組目標			
4	若い人たちが外国留学生などに三味線の魅力を伝え、伝統文化や伝統工芸への理解を促す活動を行っている。	葛飾区の子供達をはじめ、国内外の若い人たちに三味線の魅力に触れてもらい、日本文化を支える伝統のものづくりについて理解を深める機会を増やしていきたい。産業技術という側面だけでなく、文化の担い手としての側面からも光が当たるようにしたい。			
8	米国大使館でのレセプションをはじめ、あらゆる機会やメディアを通じて葛飾区の魅力を国内外に伝えてきた。東京の高級ホテルや料亭との連携に取り掛かるなど、三味線製作を通じた地元の新たな観光開発にも取り組んでいる。	職人文化が残る魅力的な観光地として、葛飾区を世界に誇れる街にしたい。職人の魅力によって世界から観光客が葛飾を訪れ、そのことで三味線のファンも広がる好循環を作りたい。そのために、新しい挑戦を続け、人々が憧れるようなものづくりに取り組みたい。			
11	初心者でも扱えるように、新しいデザインと製法、新素材を使ったコンパクトな三味線の新製品を開発するなど、三味線文化の保存に積極的に取り組んでいる。 令和4年5月には、理事長として三味線製作修理技術保存会を立ち上げ、同年7月に文化庁、同年9月には経産省の認定も受けた。	伝統を守るためには、革新を続けなくてはならない。新素材の開発、新しい原料調達先の開拓、未知の市場へのチャレンジなどに積極的に取り組みたい。と同時に、次世代を育成することに注力する。			

事業者等の名称		三絃司 きくおか	
業種		3. 製造業	
1	事業者等の名称	本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	1	
4	代表者 職・氏名	職名	代表
		氏名	河野 公昭
5	所在地	〒	124-0014
		東京都葛飾区東四つ木1丁目7番2号	
6	ホームページURL	<a href="http://www.syamisenya.jp/">http://www.syamisenya.jp/</a>	